

2026年度 初年次地域キャリアデザインワークショップ

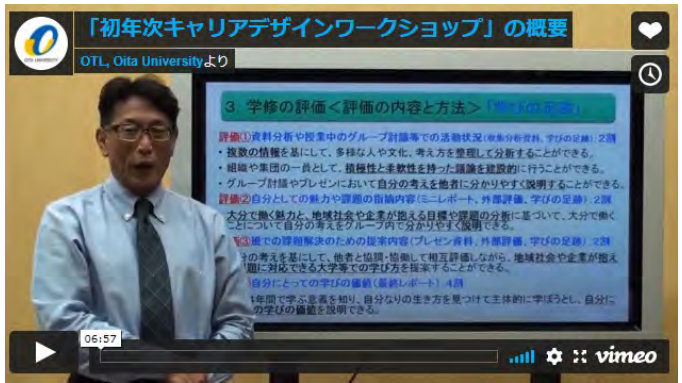
大学生として生活を始めるにあたり、「大学での学び方」「大学で学ぶ意義」を考えます。同時に自分の人生設計の考え方「キャリアデザイン」についても学びます。具体的には「大分」をテーマに、「大分で就職すること」「地域社会の創造」について、社会人を交えたグループワークで学びます。

- 受講生 大分大学（2年生18人,1年生9人）
日本文理大学（1年生1人）
- 学生アシスタント（SA）
大分大学（院2年生1人,4年生4人,3年生1人）

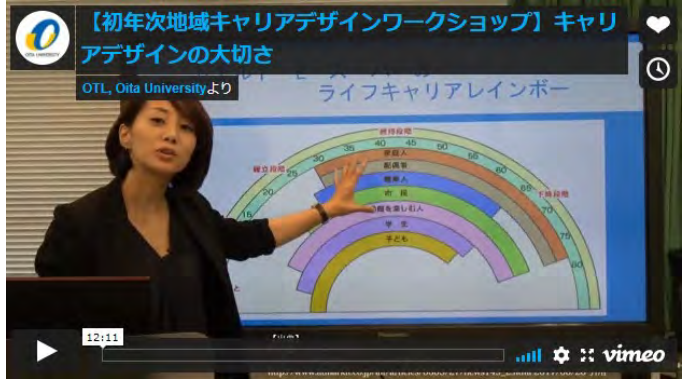
- 指導教員 大分大学
別府大学
日本文理大学
大分県立看護科学大学
- 渡邊 博子
西浦 明倫
岩本 光生
小池 楠男
鈴木 照夫
定金 香里

■オンデマンドで実施（第1～4回）

【第1回】授業ガイダンス・自己紹介作成



【第2回】ビデオ視聴・レポート作成：「キャリアデザインの大切さ」



【第3回】ビデオ視聴・レポート作成：「職場はあなたを求めています」



【第4回】「キャリアデザインの大切さ」と「職場はあなたを求めています」を統合して：レポート作成

■合同授業（第5～15回詳細は次ページ以降）

- 6/27(土) 9：30～16：50 大分大学教養教育棟
- 7/5(日) 9：30～16：50 大分大学教養教育棟
- 7/12(日) 9：30～13：30 大分大学教養教育棟

■合同授業終了後

【最終レポート】「私のキャリアデザイン」

【6／27(土) 1日目の合同学習】

事前に収集した各種情報をもとに、ディベートを実施することにより、大分で就職することの魅力と課題を検討し整理する。

●授業実施協力企業 株式会社アトムス
(若手社会人) 柳井電機工業株式会社
株式会社豊和銀行

株式会社東京海上日動火災保険
株式会社大和電業社
大分県庁



過去最多28名の学生参加とSA6名で6グループ形成。渡邊先生と西浦先生より授業ガイダンスを実施。



事前に大分で就職するメリット・デメリットについて収集してきたデータを、グループで共有し発表しました。



学生の事前レポートを紹介しながら、キャリアデザインの大切さについて、再度、対面で説明しました。



午後から、社会人指導者6名にも授業に参加していただき、ご自身の経験も踏まえて学生にアドバイスをしていただきました。



県内就職を肯定する理由、否定する理由について検討し、論理を組み立てディベートを実施しました。



ディベート終了後、教員、社会人の皆さんから講評をいただきました。学生にとっては、アドバイスも含め大きな学びとなりました。

【7／5（日） 2日目の合同学習】

「大分で描く私たちのキャリアデザイン」としてキャリアデザインの考え方を学びました。ライフキャリアとワークキャリアの2つの観点と、長期・中期・短期の時間軸で、個人ごとにイベントを整理、その上で、グループごとにモデルケースを作成しました。前回に検討した大分県で就職することの魅力と課題と合わせ、翌週のプレゼンテーションの準備をしました。



2日目の進め方を別府大学小池先生から説明。キャリアデザインを大学生のうちに検討する必要性について学びました。



若手社会人全員から自己紹介を実施。大分で働く理由や失敗経験など、今後のリスクマネジメントの参考になる話をしていただきました。



ライフキャリアとワークキャリアの2つの観点と長期→中期で、まずは個人ごとにイベントをキャリアデザインシートに整理しました。



自分が描くキャリアを共有し、各班ごとに、モデル人材を設定して、ライフキャリア・ワークキャリアのシミュレーションを行いました。



教員や若手社会人と会話をしながら、様々な視点や価値観を知る貴重な機会となりました。



最後に、小池先生より、翌週のプレゼンテーションまでの段取りについて、説明がありました。

【7／12（日）3日目の合同学習】

学生が考えたモデル人材のライフキャリア・ワークキャリアについてプレゼンを実施、内容を共有しました。それをもとに今後の大学の学びについて、若手社会人・教員・S Aからアドバイスを実施しました。



本日の進め方について、小池教授から説明。各班が作成したモデル人材のライフとワークキャリアについて10分間で発表しました。



各班は前週からオンライン上でプレゼンテーションの準備をしてきました。さらに最初の1時間を使って、対面による最終の打合せを行いました。



各班の発表に対して、参加学生、若手社会人から質問を実施しました。班ごとにモデルが違い、イマドキの学生のライフイメージを知ることができました。



発表終了後、社会人の皆様から講評・アドバイスをいただきました。今後の大学での学びについて参考になるお話でした。



S Aおよび各大学の指導教員からも、最終発表を受けて、今後の学生の皆さんに向けたコメントがありました。



最後に、渡邊先生、西浦先生から、授業のまとめをいただきました。ご参加いただきました学生・社会人・教員の皆様、大変お疲れ様でした。